

望ましい環境像 「人にも地球にもやさしいあきた」

第13次秋田市総合計画「県都『あきた』成長プラン」の基本理念 「ともにづくり ともに生きる 人・まち・暮らし」

計画見直しの視点

- (1) 本市を取り巻く環境や社会情勢の変化への対応
  - ・COP21
  - ・生物多様性国家戦略の策定など
- (2) 重点を明確にした計画
  - ・より実効性の高いもの
- (3) 本市の他の計画との整合
  - ・総合計画など

秋田市環境基本条例における施策の基本方針

- ・大気、水、土壌等環境の自然的構成要素を良好な状態に保持すること
- ・生態系の多様性の確保、野生生物の種の保存その他の生物の多様性の確保を図るとともに、森林、農地、水辺地等における多様な自然環境を保全すること
- ・市民が健康で安全に暮らせる潤いと安らぎのある都市空間の形成、地域の特性を生かした美しい景観の形成および歴史的又は文化的環境の形成を図ること
- ・廃棄物の原料、資源の循環的な利用およびエネルギーの有効利用の促進ならびに必要な技術等の活用を図ること
- ・市、事業者および市民が協働して取り組むことのできる社会を形成すること

環境都市あきた宣言（平成16年7月19日）

- ・清らかな水とさわやかな空気のもと、健やかな暮らしを守ります
- ・多様な自然をとうとび、身近な緑に親しみ、豊かな心を育みます
- ・知恵と工夫で、限りある資源とエネルギーを大切にします
- ・世代や地域を越えてともに語らい、環（わ）となって取り組みます。
- ・一人ひとりが秋田を知り、地球に学び、未来を思い、行動します。

現行計画

基本目標

知恵と工夫で、限りある資源とエネルギーを大切にします

基本目標

一人ひとりが秋田を知り、地球に学び、未来を思い、行動します

基本目標

清らかな水とさわやかな空気のもと、健やかな暮らしを守ります

基本目標

多様な自然をとうとび、身近な緑に親しみ、豊かな心を育みます

基本目標

世代や地域を越えてともに語らい、環（わ）となって取り組みます

環境基本計画における5つの基本目標

改定後計画（案）

基本目標1 低炭素社会の構築

～恵まれた地域の資源・エネルギーをいかした便利で活力ある暮らしの実現～  
日常生活や事業活動に伴う環境負荷を低減し、地域資源やエネルギーの循環的・効率的な利活用が図られる低炭素に配慮した社会の実現を目指します。

基本目標2 循環型社会の構築

～ごみの発生抑制と資源の好循環に基づく持続可能な地域社会の構築による快適な暮らしの実現～  
市、事業者および市民が適切な役割分担のもと環境への負荷を低減することに協働で取り組むとともに、「もったいない」と思う心を育み、ごみの減量や資源の有効活用等について、自ら考え、行動する意識を醸成することで、快適に生活できる社会を将来ともに実現することを目指します。

基本目標3 安全な生活環境の確保

～穏やかで心地よい環境によって支えられる安全な暮らしの実現～  
日常生活や事業活動に伴って発生する環境への負荷を少なくし、市民が健康で安心して暮らせる生活環境が確保された社会の実現を目指します。

基本目標4 自然共生社会の構築

～緑や生きものに囲まれ、自然と共に生活することで豊かな心を育み、人と自然が調和する暮らしの実現～  
美しく多様な性に富んだ秋田市の自然は、次世代に引き継ぐべき市民共有の財産といえます。自然の恵みを活用し、地域の活性化につなげていくとともに、自然からの恵みを持続的に享受できるよう、多様な自然環境を保全し、人と自然がふれあう、自然共生社会の実現を目指します。

基本目標5 協働による環境保全の取組

～協働で環境保全活動を行うことで、地域環境が整備された環境に配慮する暮らしの実現～  
市民や事業者による自発的、積極的な行動・参加を支えていくため、環境情報の提供や環境教育・環境学習を推進していくとともに、環境の保全と創造に向けて、市、事業者および市民のそれぞれが自らのライフスタイルや行動様式を変革し、協働による環境保全活動の実践を進めていく社会の実現を目指します。

各環境項目における主な指標と施策の方向

基本目標	環境項目	主な環境指標	施策の方向
基本目標1 低炭素社会の構築	地球温暖化対策の推進	・秋田市地球温暖化対策実行計画の短期目標の達成 (温室効果ガス平成17年度比-10%削減)	施策1 温室効果ガスの排出抑制 施策2 低炭素型都市の実現
	持続可能なエネルギー利用への転換	・住宅太陽光発電システム設置延べ件数2,414件	施策1 再生可能エネルギーの創出(創エネ) 施策2 省エネルギーの推進(省エネ) 施策3 環境負荷の少ない心豊かな暮らし方への転換(ライフスタイルの変革)
基本目標2 循環型社会の構築	廃棄物の排出抑制・再使用と資源の好循環	・秋田市一般廃棄物処理基本計画の数値目標の達成 (市民一人1日当たりの家庭系ごみ排出量を約480g)	施策1 廃棄物の排出抑制・再使用 施策2 資源の高度利用と有効活用による循環型処理システムの構築
	廃棄物の適正処理の確保	・秋田市一般廃棄物処理基本計画の数値目標の達成 (最終処分場への埋立量平成25年度比-10%)	施策1 廃棄物の適正処理の推進 施策2 不適正処理の未然防止
基本目標3 安全な生活環境の確保	大気環境の保全	・大気汚染に係る環境基準の達成(二酸化硫黄等) ・微小粒子状物質に係る環境基準の維持達成	施策1 固定発生源対策の推進 施策2 移動発生源対策の推進
	水環境の保全	・環境基準健康項目に係る環境基準の達成(カドミウム等) ・水質汚濁防止事故平成27年度比-50%	施策1 水質汚濁防止対策の推進 施策2 生活排水対策の推進 施策3 水資源の保全と有効活用
	その他の生活環境の保全	・一般環境騒音に係る環境基準の維持達成 ・道路交通振動に係る要請限度以下のレベルを維持達成	施策1 騒音、振動や悪臭棟の対策の推進
基本目標4 自然共生社会の構築	自然環境の保全と活用	・ホタルの生息環境保全活動を行う水路のうち水生生物による水質判定II(ややきれいな水)5箇所以上	施策1 豊かな緑の確保 施策2 自然が有する多面的機能の有効活用 施策3 自然観光資源の保全と活用
	自然とのふれあいの確保	・市が助成する自然環境体験活動の参加者数90人(年間)	施策1 自然とふれあう場・機会づくりの推進 施策2 都市景観の形成・保全 施策3 自然と歴史的・文化的環境との調和
	生物多様性保全対策の推進	・生物多様性地域戦略の策定	施策1 希少種等の保全や外来生物等への対策
基本目標5 協働による環境保全の取組	環境教育・環境学習の推進	・市が実施する環境学習講座の開催回数年間30回	施策1 環境学習プログラムの整備と機会の充実 施策2 情報の収集と提供
	自主的な環境保全行動の推進と協働による取組の推進	・自然環境保全市民活動計画の認定団体数8団体	施策1 環境に配慮した自主的行動の推進 施策2 連携した各主体の協働による環境保全行動の推進
	地域に根ざした環境共生スタイルの推進	・エネルギーパークの見学者数1,200人(年間)	施策1 多様な自然環境と共生する地域づくり 施策2 環境共生スタイルの発信

分野横断的取組

4つのプロジェクト

I 家族と地域のつながりを深める、協働による環境保全活動の活性化

II 環境対策と経済活動の好循環を両立する環境産業の振興

III 美しく多様性に富んだ自然をいかした魅力創出

IV 低炭素型のコンパクトなまちづくり